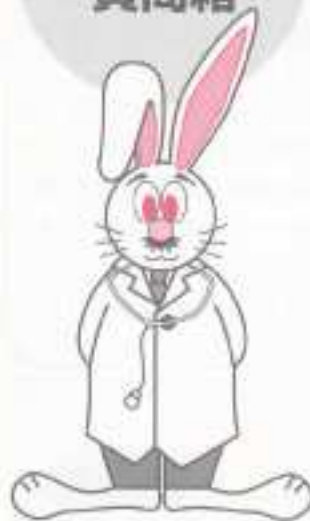


患者さん 質問箱



Q

私は春が怖いんです。鼻は真っ赤になって涙が止まらず、鼻水は垂れっぱなしです。これから面接試験もあるし、何か良い方法はないのでしょうか。
33歳 女性 スタイリスト

A

花粉症の様ですね。この病気は症状が出てから治療をはじめてもなかなか効きません。一番のポイントはアレルギーは何か。そしてアレルギーに暴露される1~2週間からの発症前の予防です。アレルギーの検査は採血することにより、容易に調べることができます。

スギの花粉症であれば1月中旬頃から予防を開始することが必要です。5月頃まで続けますが、ヒノキの過敏症があれば6月過ぎまで、イネ科の過敏症があれば7~8月ごろまで必要となります。さらに秋のブタクサあるいはダニにも反応があれば一定期間、1年を通じて予防・治療することになります。

さて予防法ですが抗アレルギー剤の内服、鼻腔・眼などに対する局所治療の2本立てが標準です。薬にはステロイド剤、抗ヒスタミン剤、抗アレルギー薬などがあり、これらを組み合わせる使用することになります。ステロイド剤の経口内服は副作用の点からも長期の使用は勧められませんが、局所での使用(鼻腔、口腔等)は最近副作用の少ない製剤があり、むしろ積極的に使われる場合もあるようです。点鼻の抗アレルギー剤で効果発現は1週間後、経口の抗アレルギー剤で2週間後からですので、スギの花粉症では1月中旬から使用開始が最善ということになります。どの薬剤をどう組み合わせるかは個人個人で異なりますので早めにご相談下さい。通常経口薬1剤、局所予防薬1剤の組み合わせですが、重症な方では局所予防薬を2剤、さらに発作時に1剤追加して使用することもあります。

さて、一番の方法はアレルギーに接触しないことです。しかしアレルギーのない場所に移住することは容易なことではありません。それで次善の策としてアレルギーを減らす方法、即ちマスクや手洗い、うがいを行なう。さらには空気清浄器の使用なども良いかもしれません。ちなみにOCFCにはアインテック社の空気清浄装置が導入されていますが、一般家庭用ではありません。

とにかく肝心なことは「先んずればアレルギーを制す」です。



僕に名前をつけてください。

僕はOCFCのロゴマークのうさちゃんドクターです。今、僕の可愛いニックネームを募集しております。貴方のお名前とニックネームを記載して投書箱にお入れください。採用者には記念品を差し上げます。現在まで多数ご応募頂いておりますが3月末日までお受けいたします。発表はOCFC法人化を記念して行ないます。

OCFC
Ohsawa Children & Family Clinic
大川こども&内科クリニック

小児科・内科・アレルギー科

東京都大田区多摩川1-6-16

院長 大川 洋二

診療時間:月~金 午前 8:30~12:00 午後 2:00~6:00

土 午前 8:30~12:00 午後 1:00~3:00

(日曜・祝日休診) 駐車場5台あり

予約
専用
代表
番号

03-3758-0099

03-3758-0920

E-mail:ocfc@jeans.ocn.ne.jp

案内図



東急多摩川線矢口渡駅前